



INNOVATION SCHOOL KU

横浜でのオープンイノベーション
新規事業創発で社会を変える!!

神奈川大学主催の「イノベーション塾」
を2021年9月15日(水)より開催致します。



イノベーション実現のために必須の経営資源は「ヒト」です。近年のMBA教育では、「知識」「経験」「人的ネットワーク」を総合的に取得させる人材教育が重要視されています。本イノベーション塾は、日本経済の底上げに貢献する人材の輩出を目指します。

イノベーション塾 プロデューサー
尾崎 弘之

特徴

- 1 起業家・企業人による**事業創発に必要な知識**の習得
- 2 **メンタリングプログラム**によるビジネスプラン構築
- 3 **Slack** によるコミュニティの創造

事業アイデアを形にしたい、ビジネスプランをブラッシュアップしたい、オープンイノベーションのパートナーを見つけたい方、起業家の育成に興味がある方などにお勧めのプログラムです。

2021年**9月15日**(水)

全**9回**

2022年**3月16日**(水)

会場／神奈川大学みなとみらいキャンパス 5階 中ホール
主催／神奈川大学
共催／一般社団法人 横浜みなとみらい 21、横浜未来機構

- 開催日によって、開始時刻が異なります。プログラムにて確認をお願い致します。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンライン開催の可能性がございます。

ご挨拶



神奈川大学はみなとみらいキャンパス開設にあわせ、「イノベーション都市・横浜」の実現の一助となるべく、イノベーション塾を開講致します。

イノベーション塾では、日本を代表するアントレプレナーのご協力を得て、ご参加頂いた企業人、技術者・研究者、起業家などが、組織を越えてネットワークを広げ、横浜から新たなイノベーションの創出を行って参ります。

イノベーション塾 塾長(神奈川大学長)
兼子 良夫



みなとみらい21では、多様なグローバル企業の研究活動拠点が集積し、「新たな創造」が動き出します。この機を捉え、地区内唯一の総合大学となる神奈川大学発でイノベーション塾が開講されます。社会課題に向けた、多彩な新規事業の芽生えを確信します。

一般社団法人 横浜みなとみらい21
代表理事 坂和 伸賢

開催事項

日時

2021年	2022年
第1回 9/15(水) 18時~20時	第6回 1/13(木) 18時~20時
第2回 10/20(水) 18時~20時	第7回 2/16(水) 18時~20時
第3回 11/17(水) 18時~20時	第8回 2/19(土) 13時~16時
第4回 11/20(土) 13時~16時	第9回 3/16(水) 17時~20時
第5回 12/15(水) 18時~20時	

- 受付開始は、開始30分前
- 終了後、1階レストランにて1時間程度の懇親会(懇親会費別途)を予定しています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、懇親会を中止することがあります。

会場



会場 神奈川大学みなとみらいキャンパス 中ホール (5階)
〒220-8739 神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-5-3
みなとみらい線「新高島駅」下車徒歩約 4分
「みなとみらい駅」下車徒歩 6分

受講料

95,000円(税込) / 一名様

お申込方法

以下の QR コードよりお申込下さい。または、神奈川大学 KU ポートスクエアホームページ (<https://www.ku-portsquare.jp/site/course/list/>) 上の、フリーワード検索欄に「イノベーション塾」と入力の上、検索下さい。



お申し込みは
こちらから



定員

50名

※先着順に受け付け、定員に達し次第締め切ります。
※申込期限は、8月31日(火)です。
申込期間後も定員に余裕がある場合は、受け付けますのでお問い合わせください。

お申込特典

- ① イノベーション塾のSlackに招待。受講生同士の繋がり構築、講師陣へのチャット、各種イベント情報の収集が可能
- ② 神奈川大学社会連携センタースタッフによるオープンイノベーションに関する無料相談

お問合せ

神奈川大学
TEL **045-664-3710**
(平日 9:00 ~ 17:00)

- お申込に関するお問い合わせ：広報事業課
- 講座内容に関するお問い合わせ：社会連携センター

プログラム

第1回 9/15(水) 18:00-20:00 / イントロダクション

神奈川大学
学長 兼子 良夫 氏



大阪大学博士(経済学)。2013年経済学部長兼第二経済学部長、2016年4月より現職。文部科学省大学設置・学校法人審議会特別委員、公益財団法人大学基準協会理事、神奈川県日中友好協会副会長、なども務める。

オープンイノベーションにおける大学の役割

2021年4月、地域に開かれた“知と文化の交流拠点”みなとみらいキャンパスが誕生。地球規模の社会課題に対して、神奈川大学がハブとなり、あらゆる人と知が交流。オープンイノベーション創発による課題解決に取り組む、新しい大学の在り方を紹介する。

神戸大学科学技術イノベーション研究科
教授 尾崎 弘之 氏

メンター



本講座のプロデューサー。野村證券、モルガン・スタンレー証券 バイス・プレジデント、ゴールドマン・サックス投信執行役員など投資銀行勤務17年。ベンチャー経営、産学連携の実務・研究20年。東京工科大学教授を経て2015年から現職。上場企業の社外役員、ベンチャーのアドバイザーを務める。神奈川大学産官学連携シニアアドバイザー、文科省核融合科学技術委員会委員。東京大学法学部卒業、New York University, Stern School of Business修了MBA、早稲田大学アジア太平洋研究科博士後期課程修了博士。

イノベーションの理論的枠組み

プログラム全体の運営方針、講義内容および受講者が目指すべきゴールを説明する。その後、イノベーションを実現する際の理論的なフレームワーク(枠組み)を講義し、イノベーターとして受講者が目指すべき人材像の理解を促す。

一般社団法人横浜経営者倶楽部
代表理事 飛山 晴彦 氏

メンター



神奈川大学卒その後野村證券入社、その後ソフトバンクに入社、孫正義氏、北尾吉孝氏の元で株式公開2回経験、ソフトバンク・フロンティア証券(現SBI証券)代表取締役、SBIホールディングス本体の執行役員で1500億のファンドで未公開企業投資、株式公開を通算4回経験する公開のプロフェッショナル。

横浜経営者倶楽部の紹介「横浜で成功しませんか？」

孫正義氏、北尾義孝氏の下で株式公開を2回経験する。現代の日本企業の中で最も成功・成長した【ソフトバンクグループの成功の方程式】と本人がソフトバンク時代に書き留めたビジネスで成功するための【孫正義語録】を講座での聴講者だけに紹介する。

世界へ、そして未来へ
神奈川大学

プログラム

第2回 10/20(水) 18:00-20:00 /アントレプレナーの経営ストーリー

株式会社ユーグレナ

代表取締役社長 出雲 充 氏



東京大学農学部卒業後、2002年東京三菱銀行入行。2005年株式会社ユーグレナを創業、代表取締役社長就任。世界初の微細藻ミドリムシ(学名:ユーグレナ)食用屋外大量培養に成功。第一回日本ベンチャー大賞「内閣総理大臣賞」受賞。

『僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。』

ミドリムシは藻の一種で、栄養価が高くCO₂を吸収することから、食料問題、エネルギー問題、地球温暖化の解決など様々な観点から注目を集めている。講演では起業を思い立ってから、上場までの軌跡、今後の未来像についてお話しする。

第3回 11/17(水) 18:00-20:00 /横浜市のイノベーション戦略

横浜市

副市長 林 琢己 氏



市民局市民協働推進部長等、主に市民協働部門に従事。その後、金沢区長、経済局長。スタートアップ成長支援拠点「YOXO BOX」の設置等、企業、団体・個人がつながり、新たなビジネスを生み出す「イノベーション都市・横浜」を推進。

協働、共創の現場からグローバルイノベーション都市をめざす

横浜市において、金沢区長、経済局長等の経歴を通じて推進してきた、市民、地域、企業、大学等と協働、共創の現場での経験を活かし、現在、副市長として推進する社会課題の解決とグローバルに通じるイノベーション都市の実現に向けた取組についてお話しする。

株式会社ショーケース

代表取締役社長 永田 豊志 氏



リクルートで新規事業開発を担当した後、ショーケースを共同創業。創業9年目で東証マザーズ上場、11年目で東証一部上場へ導いた。現在、企業と顧客をつなぐDXクラウドサービスを主に、スタートアップの成長支援事業なども手掛ける。

スタートアップの事業戦略

これまでの共同創業、黎明期、成長期、IPO、停滞期、第二創業とスタートアップがたどる成長過程の自己経験と、CVC投資事業やスタートアップ成長支援を通じて、スタートアップにおいて重要となるいくつかの経営要素について語る。

ギグワークス株式会社

代表取締役社長 村田 峰人 氏



日本の高校を卒業後、渡米。大学で環境学を専攻する傍ら、複数の事業立ち上げにも携わり、ビジネスの「おもしろさ」を体感。帰国後、環境関連企業、大手VC関連企業などを経て、独立。2014年よりギグワークス株式会社代表取締役社長。

ギグエコノミーと地域社会

インターネットを介して単発の仕事を受け負う新しい働き方、『ギグエコノミー』の発展と地域社会における経済効果について。ニューノーマル時代の労働市場に透明性と公平性をもたらす、働き手の生産性を向上させるその画期的手法とは？

第4回 11/20(土) 13:00-16:00

イノベーション・ゼミナール①

受講生は各自のアイデアを基にビジネスプランを作成する。用意したドラフトを基に起業家や大企業の新規事業スタッフなどのメンターから個別指導を受ける。そこで示された課題を解決して、第8回イノベーション・ゼミナール②までにドラフトを改善する。

第5回 12/15(水) 18:00-20:00 /大学の研究を事業化する

株式会社東京大学 TLO

代表取締役社長 山本 貴史 氏



米国スタンフォード大学のOTL(Office of Technology Licensing)の創始者である技術移転のニルス・ライマース氏と独占的なコンサルティング契約を交わし米国の技術移転に関する研究を開始。2000年株式会社東京大学TLO代表取締役社長就任、2018年国立大学法人東京大学副理事兼務、2020年東京大学エクステンション株式会社 代表取締役社長兼務。

イノベーションを推進する産学連携活動 ~東大TLOの活動から考える~

日本の産学連携活動全体を俯瞰し、ライセンス・共同研究・ベンチャー創出という観点から、今のような活動が重要視されているかを論じる。取り分け東大TLOの活動や事例を通じてアフターコロナの時代に求められる活動を議論する場としたい。

神奈川大学

教授 木原 伸浩 氏



東京大学大学院工学系研究科博士課程中退、東京工業大学資源化学研究所助手、同工学部助手、大阪府立大学工学部講師、助教授を経て2005年から神奈川大学理学部教授。博士(工学)。二酸化炭素を原料とする高分子材料の開発、インターロック化合物の合成と応用、などの研究を行い、現在は主に酸化分解性高分子材料の研究を行っている。

使用中の高い安定性・高強度と使用後の高分解性が共存する高分子材料

分解性高分子材料には、分解性接着剤・塗料などの用途があるが、一般に、高分解性の材料は使用中の安定性を欠く。ジアシルヒドラジンの利用により、使用中には高い安定性と高強度を示し、使用後に直ちに分解可能な高分子材料が実現できる。

神奈川大学

教授 高野 敦 氏



1999年4月-三菱電機株式会社 人工衛星の設計業務等に従事/2009年11月 東京大学大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻(論文博士)/2014年4月-神奈川大学工学部 機械工学科(現在に至る)/2016年9月-2017/3 内閣府 人工衛星等の打上げ及び人工衛星の管理に関する制度調査の検討会 委員。

ハイブリッドロケットによる低コスト宇宙輸送システムの開拓

従来の国主導の宇宙開発は性能を追求するあまり、コストを度外視したものにありがちであった。そこで非爆発性という特徴から運用管理コストの低減が期待できるハイブリッドロケットに着目し、低コストな宇宙輸送システムの開拓の取り組みと今後の展望について紹介する。

第6回 1/13(木) 18:00-20:00 /オープンイノベーション

京浜急行電鉄株式会社

新規事業企画室 課長 須藤 一樹 氏



2003年神奈川大学経済学部卒業、2004年京急電鉄入社。鉄道部門、不動産部門、会長秘書などを歴任。その間、総務省への出向なども経験。早稲田大学大学院にてMBAを取得。修士論文のテーマは「地域エコシステムにおける鉄道会社の役割に関する研究」。

京急グループのオープンイノベーション戦略

当社を取り巻く環境は、新型コロナウイルス、少子高齢化、デジタルテクノロジーの発展など、急激に複雑・高度化している。本講座では、鉄道業界のデジタル化である、MaaS時代のオープンイノベーション戦略について説明する。

株式会社 資生堂

R&D 戦略部長 荒木 秀文 氏



2000年に株式会社資生堂に入社。スキンケアカテゴリーの製品開発に従事。地球温暖化防止活動環境大臣表彰受賞。各種プロジェクトマネジメント、MBA取得等を経て現在はR&D戦略部長として、海外拠点も含めた資生堂の研究開発をリード。

資生堂が目指す新しい研究のカタチ

生活者トレンドがスピーディに変化する美容業界において、自前主義の研究成果を中心とする価値開発モデルが通用しなくなってきている。2019年にみなとみらいに研究開発拠点を移転した背景、資生堂が目指す未来、そして実現に向けた研究のカタチをお話しする。

株式会社ディー・エヌ・エー

スマートシティ統括部 戦略室 室長 太田 雄也 氏



DeNAに入社後、横浜DeNAベイスターズにて観客動員増大のための企画分析業務に従事。本社帰任に伴いデータアナリストに転向、同部門の課長を経て、横浜市庁舎跡地への参画案件立ち上げ。現在はスマートシティの新規事業と事業戦略を担当。

DeNAの他社との共創・協業における狙いと取組事例のご紹介

自社によるゼロからのサービスの立ち上げを多く手掛けるDeNAが、アクセラレータプログラムの共催やベンチャーキャピタルの立ち上げなど他社との共創・協業を行っているその狙いと成果について、実際の事例を通しつつ紹介する。

第7回 2/16(水) 18:00-20:00 /アントレプレナーの財務戦略

イノベーション・エンジン株式会社

代表取締役社長 佐野 睦典 氏



野村総研とJAFCOで一貫してベンチャー調査・投資業務に携わり、2001年技術系VCのパイオニアのイノベーション・エンジンを設立。GNI、イーレックス、ロゼッタなど数々の革新企業をIPOに導いている。京都大学法学部卒。Harvard Business School PMD修了。

ディープレック・スタートアップの資金調達

先端技術を活用した産業創造の重要性が高まっている。技術の優位性だけではなく、課題解決の市場イメージ、事業モデル、知財などのコンピタンス、競合優位性などを確立する必要があり、そのための資金調達戦略の進め方を提示する。

株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ 代表パートナー

日本ベンチャーキャピタル協会 名誉会長 仮屋 蘭 聡一 氏



(株)三和総合研究所での経営戦略コンサルティングを経て96年(株)グロービスのベンチャーキャピタル事業設立に参画。1号ファンドファンドマネジャーに従事。99年エイパックス・グロービス・パートナーズ設立よりパートナー就任。06年マネジング・パートナー(現代表パートナー)就任。慶應義塾大学法学部卒、米国ピッツバーグ大学MBA修了。

VC業界動向とVCからの資金調達心得

成長を続ける日本のスタートアップエコシステムにおいて、資金供給の担い手であるベンチャーキャピタルも数・規模ともに発展著しい。そのVC業界動向およびVCからの資金調達でスタートアップ企業が気をつけるべき点を明らかにしていく。

第8回 2/19(土) 13:00-16:00

イノベーション・ゼミナール②

受講生は第4回イノベーション・ゼミナール①での指摘を反映させたビジネスプランの修正版ドラフトを用意する。起業家や大企業の新規事業スタッフなどのメンターから個別指導を受ける。そでの指摘を基にドラフトを改善し、第9回事業プラン発表会に備える。

第9回 3/16(水) 17:00-20:00

事業プラン発表会

受講者全員、作成したビジネスプランの発表を行う。プログラムの講師、メンターなどが審査員となって優秀プランを表彰する。他の受講生のプランを見て学ぶこと、人的ネットワークを形成することもプログラムのゴールである。

株式会社奇兵隊

代表取締役社長 阿部 遼介 氏



国際基督教大学卒業後、アクセンチュア株式会社入社、新規事業立ち上げ支援、業務改革、BPO立ち上げ支援など複数のプロジェクトに従事。2011年株式会社奇兵隊の代表取締役に就任。100ヶ国以上で利用されている寄付型のクラウドファンディングサービスAirfundingを運営。

株式会社バカン

代表取締役 河野 剛進 氏



東京工業大学大学院修了(MOT)。三菱総合研究所でアルゴリズム等の研究員として勤めた後、IT企業にて事業戦略や新規事業立ち上げ、および米国での財務・会計に従事。2016年にバカンを設立。

講座終了後(第4回、第8回を除く)、神奈川大学みなとみらいキャンパス1階にオープン予定のレストランにて、1時間程度の懇親会を開催致します(懇親会費別途)。レストランの特徴は、「地元横浜の地産地消」「37ヶ国のビールが楽しめるWORLD BEER」です。



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、懇親会を中止することがあります。